

目 次

I 作品

(1) 収集	1
(2) 展示	3
(3) 貸出	3

II 展覧会

(1) 企画展 細川護熙 美の世界	5
(2) 特集展 モノクロームの表現	6
(3) 企画展 造形作家 玉田多紀 ダンボール物語	7
(4) 特集展 さとびとみやび 失われた理想郷を求めて	9
(5) 企画展 横山美術館名品展 明治・大正の輸出陶磁器 技巧から意匠へ	10
(6) 特集展 新収蔵品展 特集展示：藤田嗣治の初期作品	12
(7) 特集展 ロビー展 岡田健太郎 重なる景体	14

III 教育普及

(1) 令和5年度実施プログラム	16
(2) スクールプログラム	17
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	18
(4) アートカードの貸出	20

IV その他の事業

(1) 事業	21
(2) 団体向け研修・体験プログラム	21
(3) 博物館実習生及び職場体験	21
(4) 定例会議	22
(3) 所蔵作品データベースの公開	22

V 施設の管理

(1) 設備点検	22
(2) 消防訓練の実施	22

VI 施設利用者等の統計

(1) 展覧会	23
(2) 貸出施設	24

I 作品

(1) 収集

購入作品

No.	作家	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質・技法
1	村上早	馬車と馬 I	2021 年	118.0×150.0	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、スピットバイト・紙
2	村上早	馬車と馬 II	2021 年	118.0×150.0	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、スピットバイト・紙

寄贈作品

No.	作家	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質・技法
1	三沢厚彦	Animal 2007-01	2007 年	310.0×97.0×285.0	彩色・木
2	三沢厚彦	Animal 2007-02	2007 年	316.5×94.0×290.0	彩色・木
3	大沢昌助	アルカディア	1993 年	上 : 34.9×44.2 下 : 34.9×44.2	銅版・紙
4	大沢昌助	そして笑う	1995 年	27.7×40.3	木版・紙
5	大沢昌助	大木	1997 年	57.0×72.0	水彩・紙
6	大沢昌助	ひらく	1980 年	96.5×75.3	リトグラフ・紙
7	木下孝則	妻の肖像	不詳	53.0×45.6	油彩・キャンバス
8	斎藤史門	陸にあがった錨	2014 年	240.0×130.0×115.0	鉄
9	村上早	かくす	2016 年	118.0×150.0	リフトグラウンドエッチング、エッチング、アクアチント、スピットバイト（色版）・紙
10	村上早	ふうせん 2	2018 年	118.0×150.0	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、スピットバイト（色版）・紙

寄託作品

No.	作家	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質・技法
1	内田あぐり	地への漂流	1992 年	193.0×781.8	岩絵具、墨、膠、箔、雲肌麻紙
2	斎藤史門	UNTITLED	不詳	62.0×44.0×8.0	鉄
3	斎藤史門	UNTITLED	不詳	43.0×40.0×5.0	鉄
4	富岡奈津江	陶のペコちゃん	2015 年	29.5×61.0×131.0	陶
5	村上早	まわる	2015 年	123.0×155.0	リフトグラウンドエッチング、アクアチント・紙

6	村上早	嫉妬ーどくー	2020 年	130.0×130.0	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、スピットパイト（色版）・紙
7	村上早	まあ、なんて、きみのわるい	2023 年	115.0×118.0	リフトグラウンドエッチング、ニードルエッチング、アクアチント・紙
8	村上早	どうか、にげないでくれ	2023 年	115.0×118.0	リフトグラウンドエッチング、ニードルエッチング、アクアチント・紙
9	村上早	靴のしたいままに	2023 年	150.0×118.0	リフトグラウンドエッチング、アクアチント、スピットパイト・紙
10	北澤映月	好日（大下図）	1942 年	184.0×210.0	墨、淡彩・紙
11	北澤映月	好日	1942 年	186.5×217.2	彩色・紙
12	北澤映月	花（大下図）	1954 年	160.5×112.6	墨、淡彩・紙
13	北澤映月	花	1954 年	163.1×114.7	彩色・紙
14	北澤映月	花の中	1962 年	182.0×197.0	彩色・紙
15	北澤映月	彩華	1983 年	143.0×97.0	彩色・紙
16	北澤映月	緑衣	1948 年	201.2×91.7	彩色・紙
17	北澤映月	紅葉	松園塾時代	137.4×50.8	彩色・絹
18	北澤映月	想（樋口一葉）（大下図）	1973 年	184.0×120.0	墨・紙
19	北澤映月	女人卍（大下図）	1972 年	184.0×157.3	墨・紙
20	北澤映月	白川学園の子供達（大下図）	1953 年	119.0×153.0	墨・紙
21	北澤映月	文五郎と人形（大下図）	1946 年	各 144.0×98.0	墨・紙
22	北澤映月	静日（大下図）	1941 年	162.8×228.2	墨・紙
23	北澤映月	祇園会（大下図）	1936 年	180.0×227.2	墨、淡彩・紙
24	北澤映月	お市の方と三姉妹（仮称）	不詳	196.2×87.9	彩色・絹
25	上村松篁	鳩の庭	1962 年	133.0×203.5	彩色・紙
26	小倉遊亀	月	1955 年	189.0×146.0	彩色・紙
27	加山又造	紅鶴	1964 年	150.0×240.0	彩色・紙
28	杉山寧	瀑	1955 年	186.0×170.0	彩色・紙
29	高山辰雄	晝	1960 年	173.0×173.0	彩色・紙

30	中村岳陵	花と犬	1954 年	131.5×107.2	彩色・紙
31	橋本明治	浴室	1952 年	161.8×102.6	彩色・紙
32	山田申吾	雲	1955 年	127.0×183.0	彩色・紙
33	斎藤義重	複合体（T & S ギャラリーのための）	1996 年	可変	木

（２）展示

当館展覧会において下表のとおり、542 点の作品を展示しました。

N0	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	細川護熙 美の世界	100 点	0 点	100 点
2	特集展	モノクロームの表現	30 点	30 点	0 点
3	企画展	造形作家 玉田多紀 ダンボール物語	130 点	0 点	130 点
4	特集展	さとびとみやび	81 点	61 点	20 点
5	企画展	横山美術館名品展 明治・大正の輸出陶磁器 技巧から意匠へ	133 点	0 点	133 点
6	特集展	新収蔵品展 特集展示 藤田嗣治の初期作品	52 点	48 点	4 点
7	ロビー展	岡田健太郎 重なる景体	16 点	0 点	16 点
計			542 点	139 点	403 点

（３）貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり 22 点の作品を貸し出しました。

N0	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	横須賀美術館	没後 40 年 朝井閑右衛門展 4/22～6/18	2	朝井閑右衛門「廃園に於て」「悪霊と道化」
2	川崎市岡本太郎美術館ほか	顕神の夢 4/29～2024/3/17	3	平野杏子「善財南へ行く」黒川弘毅「EROS No.71」「EROS No.72」
3	角川武蔵野ミュージアム	荒俣ワンダー秘宝館・魚つとこ水族館～はじまりは金魚展 7/8～2024/1/14	1	深堀隆介「桜升 命名 淡紅」
4	ポーラ美術館	シン・ジャパニーズ・ペインティング 革新の日本画展 7/15～2024/12/3	1	三瀬夏之介「空虚五度」
5	東京ステーションギャラリーほか	春陽会誕生 100 年記念それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政～岡鹿之助 9/16～2024/7/7	5	萬鉄五郎「宙腰の人」椿貞雄「朝子像」鳥海青児「水田」「セリスト(B)」「高カラーの男」
6	名古屋市美術館	福田美蘭展 9/23～11/19	2	「紅白芙蓉図」「見返り美人 鏡面群像図」
7	奈良県立万葉文化館	飛鳥の祝歌 絹谷幸二展 10/7～12/3	1	「あううん・祈り」
8	神奈川県立近代美術館 葉山館	100 年前の未来 移動するモダニズム 10/7～	1	萬鉄五郎「雲と裸婦」

		2024/1/28		
9	足利市立美術館	平野杏子展 2024/2/10～ 3/24	4	「触手のある暦」「菩提樹下のある 日」「迦毘羅城の黄昏」「蘇生する善 知識」
10	山口蓬春記念館	嗣治と蓬春 二人の見た 風景 2024/2/3～3/31	2	藤田嗣治「おことさん」「マレー 風景（カンボジャ風景）」
計			22 点	

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 細川護熙 美の世界

種 別	企画展
会 期	4月8日(土)～6月11日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	56日
入場者数	6,126人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)



(左)細川護熙「井戸茶盃 独坐」1999年、(右)「双龍図」2020年

●内容

「晴耕雨読」の生活のなか「閑居」を実践する細川護熙氏(ほそかわもりひろ、1938-)。

評価の高い茶碗や近年幅を広げた水墨画、漆絵、書画、さらに大本山建仁寺の襖絵「瀟湘八景図」、龍安寺の襖絵「雲龍図」奉納に共通するのは、日本文化の源流をさかのぼりそれぞれの精神を極めながら、気どらず理想の世界観を追い求めているところでしょう。

一流の師に教を乞い、井戸をはじめ信楽、志野、唐津といった作陶に始まる美の世界への貴い探究は、幼いころに祖父が架け替えていた白隠の書と禅画に関心を持ったことに始まり、さらには往時に見た日の出や月、路傍の草花、鳥や虫の声や音楽などに育まれたものであったと述懐します。

護熙氏は60歳を機に政界を引退ののち、湯河原に閑居し作陶。20回に及ぶ個展開催をへて昨年に連年の展覧会を一区切りと定め、国内外の不安定な情勢に目を向けながら、心の赴くまま書物を紐とき、筆を執る生活を企図しています。気ぜわしく、また不安な現代社会にあって、さらに還暦を超えていかに生きがいを見つけていくべきか考えるとき、細川護熙氏の美の探究はある一つの理想の世界観を示しているのではないのでしょうか。本展では、こうした細川護熙氏の美の世界を100点の作品によって紹介しました。

●関連事業

○講演会 藤森照信氏(建築家・江戸東京博物館館長)

日時:5月13日(土) 14:00～15:00

場所:ミュージアムホール(申し込み不要)

参加人数:128人

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時:①4月15日(土)、②6月10日(土) 各日14:00～14:40

場所:展示室Ⅱ(申込不要、要観覧券)

参加人数:①30人、②35人

(2) 特集展 モノクロームの表現

種 別	特集展
会 期	4月8日(土)～5月28日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	44日
入場者数	4,188人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



三瀬夏之介「空虚五度」(部分) 2012年、当館寄託

●内容

美術作品におけるモノクロームは、単色で表現された絵画のことを指します。写真や映画、テレビにおいてカラーでないものをモノクロということから、一般になじみ深いのは白と黒の表現でしょう。本展では、白から黒への色彩の変化やグラデーションを駆使して内的な世界を具現化したり、モチーフの存在そのものに迫ろうとするなど、各自の表現を追求する8名の作家の作品30点を紹介しました。

田澤茂(1925-2014)は油絵具を用い、現代社会の縮図として魑魅魍魎の世界を描き出しています。銅版画を得意とした渡辺千尋(1944-2009)は幻視した幻想的な世界を細かい線描で表し、伊藤彬(1940-)は木炭や墨により人間の本質にかかわる精神性や宗教観を山水草木に投影して描いています。木下晋(1947-)は鉛筆で、三浦明範(1953-)はシルバーポイントという古典技法によりそれぞれ人間や物質の存在を追究し、藤山貴司(1950-2008)は自身の考える世界創生の物語を木炭やコンテによって紡ぎ出しました。三瀬夏之介(1973-)は私的な感覚に基づく社会への問題提起ともいえる作品を墨によって描き、石井礼子(1974-2019)は日常生活の光景を墨線で描くことで自分自身と向き合いました。

色彩の世界からモノクロームの世界へ移行した作家、ごく一時期だけモノクロームの表現を試みた作家など、取り組み方はそれぞれですが、自身の内面やモチーフそのものを凝視し、色彩を極限までしぼったモノクロームで表現するという手法は、作家に重要な気付きを与えたことでしょう。単色でありながら美しい諧調と豊かな世界観をもつ表現の魅力をご覧ください。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①4月22日(土)、②5月20日(土) 各日14:00～14:30

場所：展示室Ⅰ(申込不要、要観覧券)

参加人数：①17人、②23人

(3) 企画展 造形作家 玉田多紀 ダンボール物語

種 別	企画展
会 期	6月24日(土)～9月10日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は16:30まで)
助 成	公益財団法人朝日新聞文化財団
休 館 日	月曜日 (7月17日は開館)、7月18日(火)
観 覧 料	一般700円、高大生500円
開催日数	68日
入場者数	16,772人
担 当	勝山滋 (当館学芸担当長)、安部沙耶香 (当館学芸員)



玉田多紀「ネオアンモナイト」2015年



玉田多紀「自己愛」2018年



玉田多紀「それを楽しむ」2022年

●内容

「造形作家 玉田多紀 ダンボール物語」を開催しました。玉田多紀（たまたき、1983年兵庫県生）は、多摩美術大学造形表現学部造形学科卒業後、古紙ダンボールを使用し、生き物の造形美や性質をユニークに捉えた立体作品を制作しています。国内外の展覧会やウィンドウディスプレイ、TVメディアや動画配信、ワークショップなど幅広く活動しています。

SDGsが社会のテーマになっている昨今、ダンボールはリサイクルが100%可能な優れた素材として注目を集めています。古紙ダンボールの強度や柔軟性に魅了され、作家は15年以上も前からダンボールを素材とした立体作品を制作しています。その制作方法は特徴的で、ダンボールをそのまま使うのではなく、パルプにまで還元し粘土のようにした上で造形していきます。本来であれば捨てられてしまうはずの古紙ダンボールを作品として魅らせ、命を吹き込んでいくのです。また、素材感を損なわないように着色はせず、ダンボールの色味を活かしています。モチーフとなるのは恐竜やゾウ、キリンやオランウータン、クジラなど様々ないきものです。

近年では絶滅危惧種をモチーフとして生態系の環境問題に目を向け、ジェンダーギャップなど現代社会を象徴とする問題を生き物の視点で捉えて表現しています。また、作家は来館者に見るだけでなく、体験しながら鑑賞できる作品作りを心掛けています。

関東地方の公立美術館で初めての個展となる本展は、陸上から海中まで様々ないきものの作品約130点を展示しました。玉田多紀の生命力あふれるダンボールのいきものたちをお楽しみいただきました。

●関連事業

○玉田多紀氏のギャラリークルーズ

内容：作家と一緒に展示室をめぐりながら、制作秘話や作品の見どころを紹介するトークイベントです。

日時：①6月24日（土）、8月19日（土） 各日14:00-15:00

場所：展示室Ⅰ（申込不要、要観覧券）

参加人数：①47人、②121人

○玉田多紀氏のダンボールワークショップ

内容：玉田氏と同じ技法を使いダンボールでいきものを作ります。

日時：①7月1日（土）、8月26日（土） 各日 10:00-12:00、14:00-16:00

対象：5才～一般（ただし、10才未満は保護者と制作）

参加人数：①41人、②43人

○教員向け実技講座

内容：古紙ダンボールを使う立体作品のレクチャーをします。

日時：8月8日（火） 13:30-15:30

対象：小・中・高・特別支援学校の教職員（市内優先）

場所：アトリエ

参加人数：25人

○ミニワークショップ

内容：来場者がダンボールの破片で羽を作ってメッセージを託しました。

日時：展覧会会期中の 9:30-16:30

※どなたでも参加できます

場所：テーマホール

○「造形作家 玉田多紀 ダンボール物語」まちなか展示

内容：玉田氏の作品をひらしん平塚文化芸術ホールにて出張展示しました。

日時：8月10日（木）～31日（木） 各日 9:00-22:00

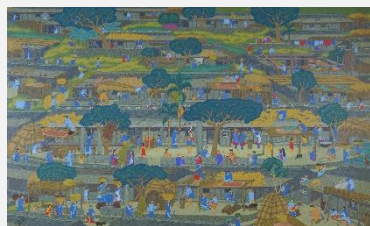
休館日：8月21日（月）

場所：ひらしん平塚文化芸術ホール エントランスギャラリー

入場料：無料

(4) 特集展 さとびとみやび 失われた理想郷を求めて

種 別	特集展
会 期	6月24日(土)～9月3日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(ただし7月17日(月・祝)は開館)、7月18日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	62日
入場者数	12,249人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)



小林保祥《高砂族の生活》1940-45年



濱谷浩《雲と波と雪と家》1955年



藤田昭子《出縄》の野焼き、1977年

●内容

地方(さとび)と都市(みやび)を主題とした作品と、地方と都市の中間に位置する湘南地方で制作した作家たちを紹介しました。湘南地方は歴史的に都市住民の療養地、避暑地として発展し、その海岸の美しいイメージに誘われ、芸術家たちはこぞってアトリエを構えました。彼らの多くは、都市の不安や騒がしさに満ちた生活から逃れようとした移住者でした。

人々は古代から、ここではないどこか、失われた原風景を求めて、理想的な生活を夢見て、都市は精神的に不安定に満ち、地方は心の豊かさや静かな生活を与えてくれると考えました。湘南という土地の名もまた日本における桃源郷イメージの原型ともいえる、中国の「瀟湘」(長江の流域)に由来します。湘南地方は都市生活者が思い描く近代化以前の原風景として、我々の伝統的な考え方や結びついて生まれたユートピアと言えるでしょう。

4章からなる本展では、萬鉄五郎や岸田劉生を初めとする湘南で創作した春陽会の画家や、彫刻家・保田春彦とともに故郷イタリアを離れ、湘南の地で生きたシルヴィア・ミニオ＝パルウエルオ・保田、台湾の先住民族に取材し、文化人類学研究の傍らで理想化された共同体を描いた小林保祥を特集します。また人間が取り戻すべき原風景を表現し続けた、平塚市を拠点とする造形作家・藤田昭子の作品と資料を紹介しました。藤田は、「野焼き」と呼ばれる、窯を使わずに野外で粘土を焼く制作方法で、湘南の地に世界最大級のやきもの《出縄》(1975年)を出現させました。70年代のコミュニケーション運動に呼応し、「人間らしい空間」の創造をかけた藤田による集団での創作行為には、人間を疎外する都市生活に抗い、原始的な建築や共同体を生み出そうとする意志が一貫しています。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①7月1日(土)、②8月20日(日) 各日14:00-14:45

場所：展示室Ⅱ(申込不要、要観覧券)

参加人数：①12人、②12人

○講演会「湘南の誕生」

講師：増淵敏之(法政大学大学院政策創造研究科教授)

日時：7月29日(土) 14:00-15:00

場所：ミュージアムホール(申込不要)

参加人数：14人

(5) 企画展 横山美術館名品展 明治・大正の輸出陶磁器 技巧から意匠へ

種 別	企画展
会 期	10月7日(土)～11月26日(日)
主 催	平塚市美術館
特別協力	公益財団法人横山美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(ただし10月9日(月・祝)は開館)、10月10日(火)
観 覧 料	一般 900円、高大生 500円
開催日数	44日
入場者数	4,133人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



宮川香山(初代) 高浮彫河骨亀翡翠花瓶 明治時代前期



金盛花鳥図水差(オールドノリタケ) 1891～1911年頃

●内容

明治時代には、政府が推進する殖産興業、輸出振興政策により、日本の陶磁器が欧米を中心に積極的に輸出されるようになりました。その背景には、日本の陶磁器が19世紀後半から欧米でたびたび開催された万国博覧会において高い評価を得ていたことが挙げられます。

欧米の人々の好みにあうよう製作された東洋的なモチーフと精緻な技巧を備えた絢爛豪華な陶磁器は、ジャポニスムの気運を高めるとともに欧米のやきものと相互に影響しあいながら、後のアール・ヌーヴォー、アール・デコへと展開する端緒となりました。

神奈川県内でも、1859年の横浜開港により、従来窯がなかった横浜で陶器生産がはじまり、京都から移り住んだ宮川香山(みやがわこうざん・1842-1916)が眞葛焼(まくずやき)を試みて好評を博しました。香山の技巧を凝らした陶器からは、全力を尽くして世界に挑戦していた明治の陶工の気概が見て取れます。ほかにも素地を産地から取り寄せて横浜で上絵付を施す工場が多数でき、輸出港ならではの賑わいをみせました。

本展では、輸出陶磁器の全盛期である明治時代前半に海外へ輸出された日本各地の陶磁器の里帰り品を皮切りに、明治30年代以降のアール・ヌーヴォー、アール・デコに代表される新しい意匠やデザインを取り入れた作品を、横山美術館の名品133点によりご紹介しました。

●関連事業

○ギャラリートーク

日時：①10月8日（日）、②10月21日（土）、11月4日（土） 各日 14：00-14：40

講師：①原久仁子氏（公益財団法人横山美術館学芸員）、②③当館学芸員

場所：展示室Ⅱ（申込不要、要観覧券）

参加人数：①30人、②32人、③30人

○ワークショップ 磁土の箸置きづくり

日時：10月22日（日）、10月28日（土）2日連続講座 ①10：00-12：00、②13：30-15：30

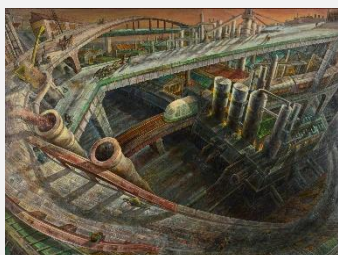
講師：伴健太郎氏（陶磁器工房器楽）

場所：アトリエB

参加人数：①9人、②16人

(6) 特集展 新収蔵品展 特集展示：藤田嗣治の初期作品

種 別	特集展
会 期	9月23日(土)～2024年2月18日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	タカシマヤ文化基金
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日、(10月9日、2024年1月8日、2月12日は開館し、翌火曜日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	123日
入場者数	8,906人
担 当	江口恒明(当館学芸員)、安部沙耶香(当館学芸員)



遠藤彰子《岐路》1984年



内田あぐり《わたしの前にいる、目を閉じている #09T》2009年

●内容

平塚市美術館では作品収集の活動を継続的にこなってきました。本展では2021年度と2022年度に新たに収蔵された作品40点を展示いたします。いずれも湘南地域にゆかりのある作家や企画展などをきっかけに寄贈・寄託となった作品です。

内田あぐり《わたしの前にいる、目を閉じている #09T》は「湘南と作家Ⅱ」(2011年)に出品されました。人体の表現を追求してきた作家が、具体的なイメージを解体し、画材の物質性や偶然にできる色や形を画面にあらわそうとしたシリーズの1点です。また、遠藤彰子《岐路》は「物語る 遠藤彰子展」(2021年)に出品された作品です。魚眼レンズのような広い視覚で見る風景は、都市風景を描いた一連の作品に数えられます。

このほか、島田章三や高良眞木など湘南地域にゆかりのある作家の作品が収蔵されました。おなじみの作家の新たな顔ぶれをお楽しみいただければ幸いです。

さらに、展示室内に特集コーナーを設け、2018年度に寄託を受けた藤田嗣治の油彩画《おことさん》を1993年の企画展「湘南の美術と文学」以来30年ぶりに公開し、その関連作品も展示します。本作品は藤田が東京美術学校在学中に描いたもので、画業の最初期における貴重な作例といえます。タカシマヤ文化基金の助成を得て修復処置と光学的調査をおこなった成果とともに紹介しました。

●関連事業

○対談「藤田嗣治の初期作品」

講師：木島隆康氏(東京藝術大学名誉教授)、林洋子氏(美術史家、兵庫県立美術館館長)

日時：11月11日(土) 14:00-15:30

場所：ミュージアムホール(申込不要)

参加人数：73人

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①10月14日(土)、②12月9日(土)、③2024年1月20日(土)、④2月10日(土)

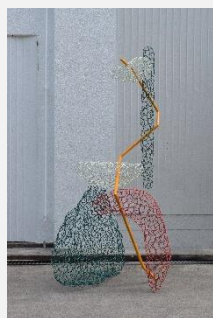
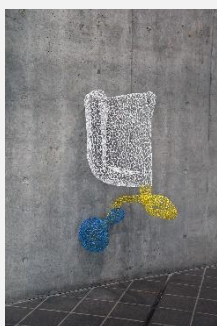
各日 14:00-14:40

場所：展示室Ⅰ（申込不要、要観覧券）

参加人数：①22人、②5人、③12人、④25人

(7) 特集展 ロビー展 岡田健太郎 重なる景体

種 別	特集展
会 期	12月5日(火)～2024年4月7日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日(ただし1月8日(月・祝)、2月12日(月・祝)は開館)、1月9日(火)、 2月13日(火)、年末年始(12月29日(金)～1月3日(水))
観 覧 料	無料
開催日数	103日
入場者数	10,554人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



岡田健太郎《Auto reverse II》2016年 岡田健太郎《Plantronica II》2018年 岡田健太郎《月と水脈、地下》2022年

●内容

湘南を拠点として現在活躍する彫刻家・岡田健太郎の個展「岡田健太郎展 重なる景体」を開催しています。

岡田健太郎は1977年に岡山県に生まれ、79年に横浜市・本牧へ移り住みます。2002年、武蔵野美術大学彫刻学科を卒業。近年は第17回KAJIMA彫刻コンクール、第28回UBEビエンナーレに入賞し、いま注目される彫刻家のひとりです。

大学卒業後、岡田は御影石を使用し、棺をモチーフとする作品を制作していました。その後、より柔軟な素材を探すなかで、金属製の棒をペレット状に切断し、それらを五画形に溶接する方法を見出しました。有機的なかたちをした作品は、なだらかな輪郭線を持ち、サイズの異なる複数のオブジェが重なりあうようにもたれ合います。籠のようなペレットの網の目の中に、何もない閉じた空間が立ち現れますが、一方でその空間は、風や光といった周囲の環境の変化に影響をうけ、私たちは事物の外側・内側があいまいになるように感覚を覚えます。

本展では、湘南の陽光がふりそそぐテーマホールの大きな空間を舞台に、新作2点を含む16点の作品から活躍著しい作家の歩みをふりかえります。

●関連事業

○アーティストトーク

日時：①12月17日(日)、②2024年2月10日(土) 各日14:00～14:30

講師：岡田健太郎氏(彫刻家)

場所：テーマホール(申込不要)

参加人数：①20人、②41人

○ワークショップ

① アルミを削って彫刻をつくろう

日時：2024年2月3日（土）

講師：岡田健太郎氏（彫刻家）

場所：アトリエB

参加人数：11人

② 金属板のカケラで、へんてこな生き物をつくろう

日時：2024年3月24日（日）

講師：岡田健太郎氏（彫刻家）

場所：アトリエB

参加人数：19人

Ⅲ 教育普及

(1) 令和5年度実施プログラム

37 プログラムを実施 参加人数：630 人

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、小林朋子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	体験アートセラピー 親子でパステルワーク～笑顔のカードを作ろう～	福山恵美子(アートセラピスト)	4月15日(土)	200円	親子(小・中学生)	6組 12人
2	動いて見つけてつくってみよう 自分だけのからだモビール①	對木裕里(彫刻家)	5月7日(日)	500円	幼児～一般	6組 12人
3	動いて見つけてつくってみよう 自分だけのからだモビール②	對木裕里(彫刻家)	5月7日(日)	500円	幼児～一般	8組 16人
4	キッズアート5月	富田めぐみ※	5月23日(火)	1組 500円	親子(2～4歳)	5組 10人
5	東海大学協働事業 デッサン教室 木炭基礎デッサンを描いてみよう!	東海大学教員	6月4日(日)	500円	中学生～一般	12人
6	赤ちゃんアート6月	富田めぐみ※	6月9日(金)	1組 500円	親子(1～2歳)	7組 14人
7	玉田多紀展関連ワークショップ ダンボールでいきものをつくろう!① 午前	玉田多紀(造形作家)	7月1日(土)	500円	5歳～一般	21人
8	玉田多紀展関連ワークショップ ダンボールでいきものをつくろう!① 午後	玉田多紀(造形作家)	7月1日(土)	500円	5歳～一般	20人
9	キッズアート7月	富田めぐみ※	7月4日(火)	1組 500円	親子(2歳3ヶ月～4歳)	10組 20人
10	中高生ボランティアによるワークショップ 美術館であそぼ①	中高生ボランティア	8月5日(土)	無料	小学生	1人
11	中高生ボランティアによるワークショップ 美術館であそぼ②	中高生ボランティア	8月6日(日)	無料	小学生	7人
12	割りピンでおさかなをつくろう	hoppe(造形あそび教室主宰)	8月20日(日)	500円	親子(未就学児4～6歳)	11組 25人
13	赤ちゃんアート8月	富田めぐみ※	8月24日(木)	1組 500円	親子(1～2歳)	11組 22人
14	玉田多紀展関連ワークショップ ダンボールでいきものをつくろう!② 午前	玉田多紀(造形作家)	8月26日(土)	500円	5歳～一般	22人
15	玉田多紀展関連ワークショップ ダンボールでいきものをつくろう!② 午後	玉田多紀(造形作家)	8月26日(土)	500円	5歳～一般	21人
16	キッズアート9月	富田めぐみ※	9月1日(金)	1組 500円	親子(2～4歳)	11組 22人
17	東海大学協働事業 デッサン教室 木炭基礎デッサンを描いてみよう!	東海大学教員	10月1日(日)	500円	中学生～一般	13人
18	大人のためのアートセラピー パステルで心をまあるく	福山恵美子(アートセラピスト)	10月15日(日)	200円	中学生～一般	17人
19	横山美術館展関連ワークショップ 磁土の箸置きづくり① 午前	伴健太郎(陶磁器工房 器楽)	10月22日(日) 10月28日(土)	1,000円	小学生	9人
20	横山美術館展関連ワークショップ 磁土の箸置きづくり② 午後	伴健太郎(陶磁器工房 器楽)	10月22日(日) 10月28日(土)	1,000円	中学生～一般	16人
21	赤ちゃんアート10月	富田めぐみ※	10月25日(水)	1組 500円	親子(1～2歳)	11組 22人
22	キッズアート11月	富田めぐみ※	11月10日(金)	1組 500円	親子(2～4歳)	9組 18人

23	じぶんだけの木をつくろう	hoppe (造形あそび教室主宰)	11月19日(日)	500円	親子(未就学児4～6歳)	13組 27人
24	冬のリノリウム版画講座	城戸宏(版画工房主宰)	12月3日(日) 12月10日(日)	1,500円	小学校3年生～一般	11人
25	赤ちゃんアート12月	富田めぐみ※	12月12日(火)	1組 500円	親子(1～2歳)	10組 21人
26	紙のドライポイントでカレンダーを作ろう	城戸宏(版画工房主宰)	1月8日(月・祝)	800円	小学校3年生～一般	10人
27	キッズアート1月	富田めぐみ※	1月12日(金)	1組 500円	親子(2～4歳)	9組 17人
28	岡田健太郎展関連ワークショップ アルミを削って彫刻をつくろう	岡田健太郎(彫刻家)	2月3日(土)	1,000円	中学生～一般	11人
29	赤ちゃんアート2月	富田めぐみ※	2月7日(水)	1組 500円	親子(1～2歳)	12組 25人
30	キッズアート3月	富田めぐみ※	3月6日(水)	1組 500円	親子(2～4歳)	13組 28人
31	バックヤードツアー「きてみてきて」①午前	当館学芸員	3月9日(土)	無料	小学校3年生～6年生	15人
32	バックヤードツアー「きてみてきて」②午後	当館学芸員	3月9日(土)	無料	中学生～一般	17人
33	岡田健太郎展関連ワークショップ 金属板のカケラで、へんてこな生き物をつくろう	岡田健太郎(彫刻家)	3月24日(日)	500円	小学3年生～一般	19人
34	身近な石から天然顔料の絵の具作り① 午前	青木明日香、黒石千恵子、藤野真由羅(いずれも日本画家)	3月29日(金)	1,000円	5歳～一般	21人
35	身近な石から天然顔料の絵の具作り① 午後	青木明日香、黒石千恵子、藤野真由羅(いずれも日本画家)	3月29日(金)	1,000円	5歳～一般	24人
36	身近な石から天然顔料の絵の具作り② 午前	青木明日香、黒石千恵子、藤野真由羅、橋本弘安(いずれも日本画家)	3月30日(土)	1,000円	中学生～一般	15人
37	身近な石から天然顔料の絵の具作り② 午後	青木明日香、黒石千恵子、藤野真由羅、橋本弘安(いずれも日本画家)、野崎篤(平塚市博物館学芸員)	3月30日(土)	1,000円	中学生～一般	17人

※NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

(2) スクールプログラム

児童・生徒向けプログラム 14プログラムを実施 参加人数：366人

教員向けプログラム 5プログラムを実施 参加人数：87人

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、小林朋子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	てるてる坊主づくり	当館学芸員	6月13日(火)	神奈川県立平塚支援学校 肢体不自由教育部門小学部3年生	18人
2	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月12日(水)	平塚支援学校知的障害教育部門高等部3年生	23人
3	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月13日(木)	伊勢原支援学校高等部2年生	7人

4	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月25日(火)	平塚市立横内中学校美術部	13人
5	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月25日(火)	小田原市立千代中学校美術部	15人
6	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月25日(火)	横浜市立泉が丘中学校美術部	30人
7	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月26日(水)	逗子市立沼間中学校美術部	17人
8	教員向け 対話による美術鑑賞体験会	当館学芸員	7月27日(木)	小・中・高・特別支援学校の教職員	14人
9	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月27日(木)	伊勢原市立中沢中学校美術部	14人
10	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	7月27日(木)	藤沢市立大清水中学校美術部	25人
11	社会体験研修	当館学芸員	7月27日(木) 8月3日(木) 8月8日(火) 8月22日(火)	5年経験者研修対象教員	8人
12	平塚市立小学校教育研究会 図画工作部研修	当館学芸員	8月1日(火)	平塚市内小学校教員図画工作部所属教員	35人
13	中学・高校生のワークショップボランティア	当館学芸員	8月3日(木) 8月5日(土) 8月13日(日)	中学生～高校生	8人
14	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	8月3日(木)	Little Starfish International School	20人
15	玉田多紀展レクチャー	当館学芸員	8月4日(金)	小田原市立泉中学校美術部	24人
16	教員向け実技講座	玉田多紀氏	8月8日(火)	小・中・高・特別支援学校の教職員	25人
17	伊勢原市立中学校教育研究会 美術部会研修	当館学芸員	8月23日(水)	伊勢原市中学校教員美術部会所属教員	5人
18	バックヤードツアー	当館学芸員	11月2日(木)	平塚市立崇善小学校2年生	122人
19	横山美術館名品展レクチャー	当館学芸員	11月15日(水)	小田原市立新玉小学校4年生	30人

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

対話による美術鑑賞授業 令和5年4月に希望校を募集し依頼を受け次第実施しました。

8校(13学年38クラス)で実施 参加人数：1,032人

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、小林朋子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)

NO	学校名	準備日	学校実施日 (事前授業日)	来館授業日	学年	クラス数	参加人数
1	金田小学校	5月11日(木)	5月25日(木)、 26日(金)	—	6年	3クラス	94人
2	花水小学校	6月14日(水)	6月20日(火)、21日(水)、22日(木)	—	3年	6クラス	188人
3	南原小学校	6月28日(水)	7月6日(木)	10月5日(木)	6年	1クラス	38人
4	崇善小学校	8月25日(金)	8月30日(水)	—	通級指導教室	—	15人
5	港小学校	8月25日(金)	8月31日(木)	—	支援級	3クラス	16人
6	崇善小学校	8月29日(火)	9月6日(水) 9月7日(木)	—	4年	3クラス	102人
7	花水小学校	9月5日(金)	9月12日(火)、13日(水)、14日(木)	—	4年	5クラス	171人
8	松原小学校	11月4日(火)	11月22日(水)	11月29日(水)	3年	2クラス	56人
9	松原小学校	11月29日(水)	12月6日(水)	12月13日(水)	4年	2クラス	68人

10	神田小学校	12月5日(火)	12月12日(火)、 14日(木)	1月16日(金)	3年	3クラス	78人
11	松原小学校	12月13日(火)	12月19日(水)	1月11日(金)	学習室	4クラス	20人
12	富士見小学校	1月11日(木)	1月18日(木)	1月25日(木)、 26日(金)	6年	4クラス	121人
13	神田小学校	2月14日(水)	2月21日(水)	—	2年	2クラス	65人

事前授業のみの授業も実施します。授業はひらびあ一つま〜れのメンバーが担当しています。

●ボランティア育成のための研修等を実施しました。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)8期生の育成、及び新規加入の9期生11人の育成を実施しました。また、9期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびcaféを実施しました。

49プログラムを実施 参加人数：461人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	8期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	4月8日(土)	11人
2	体験会ミーティング①	当館学芸員	4月13日(木)	9人
3	ひらびcafé	当館学芸員	4月18日(火)	7人
4	自主研修	当館学芸員	4月21日(金)	11人
5	体験会ミーティング②	当館学芸員	4月26日(水)	9人
6	自主研修	当館学芸員	4月28日(金)	10人
7	8期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	5月12日(金)	11人
8	自主研修	当館学芸員	5月18日(木)	15人
9	体験会ミーティング③	当館学芸員	5月30日(火)	5人
10	自主企画ミーティング①	当館学芸員	6月2日(金)	10人
11	自主企画ミーティング②	当館学芸員	6月8日(木)	6人
12	自主研修	当館学芸員	6月10日(土)	11人
13	自主企画ミーティング③	当館学芸員	6月14日(水)	4人
14	自主研修	当館学芸員	6月15日(木)	4人
15	9期募集体験会1回目	当館学芸員	6月24日(土)	9人
16	8期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	6月30日(金)	15人
17	9期募集体験会2回目	当館学芸員	7月5日(水)	8人
18	自主研修	当館学芸員	7月8日(土)	7人
19	教員向け対話による美術鑑賞体験会ミーティング	当館学芸員	7月14日(金)	3人
20	自主研修	当館学芸員	7月20日(木)	11人
21	平塚市立小学校教育研究会図画工作部研修会ミーティング	当館学芸員	7月21日(金)	10人
22	自主企画ミーティング④	当館学芸員	8月4日(金)	8人
23	自主企画ミーティング⑤	当館学芸員	8月10日(木)	11人
24	自主研修	当館学芸員	8月10日(木)	5人
25	自主企画ミーティング⑥	当館学芸員	8月18日(金)	10人
26	ひらびcafé	当館学芸員	8月18日(金)	5人
27	おしゃべり美術館	当館学芸員	8月23日(水) 8月25日(金)	27人
28	9期基礎研修1回目	三ツ木紀英 (ARDA)	9月9日(土)	12人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
29	9 期基礎研修 2 回目	三ツ木紀英 (ARDA)	9 月 16 日(土)	12 人
30	交流会	当館学芸員	9 月 30 日(土)	16 人
31	自主企画ミーティング⑦	当館学芸員	10 月 12 日(木)	13 人
32	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	10 月 14 日(土)	9 人
33	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	10 月 21 日(土)	11 人
34	自主研修	当館学芸員	10 月 27 日(金)	3 人
35	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	11 月 11 日(土)	11 人
36	自主研修	当館学芸員	11 月 17 日(金)	4 人
37	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	11 月 25 日(土)	10 人
38	自主研修	当館学芸員	11 月 30 日(木)	4 人
39	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	12 月 9 日(土)	12 人
40	自主研修	当館学芸員	12 月 15 日(木)	10 人
41	アートカード研修	桑原和美 (ARDA)	12 月 21 日(木)	8 人
42	アートカード研修	桑原和美 (ARDA)	1 月 13 日(土)	9 人
43	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	1 月 20 日(土)	10 人
44	自主研修	当館学芸員	2 月 8 日(木)	5 人
45	アートカード研修	桑原和美 (ARDA)	2 月 10 日(土)	10 人
46	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	2 月 17 日(土)	9 人
47	自主研修	当館学芸員	3 月 5 日(火)	6 人
48	年間振り返りミーティング	当館学芸員	3 月 8 日(金)	17 人
49	9 期実践研修	三ツ木紀英 (ARDA)	3 月 16 日(土)	8 人

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行っています。(令和 5 年度は貸出 0 件)

IV その他の事業

(1) 事業

●ミュージアムコンサート

美術館により親しんでいただくため、「ミュージアムコンサート 2024～マリンバの楽しみ～」と題したコンサートを開催しました。

日 時：令和6年2月11日（日）14時00分～15時00分

場 所：テーマホール

内 容：マリンバ奏者 椎名友樹氏、廣石絢子氏、ドラムパーカッション奏者 赤羽一則氏の演奏を楽しんでいただきました。

参加者数：約180人

●第46回平塚市展

会 期：令和6年3月3日（日）～3月17日（日）

主 催：平塚市展委員会

協 力：平塚書道協会、平塚美術家協会、平塚写真連盟、平塚市教育委員会

(2) 団体向け研修・体験プログラム

6プログラムを実施 参加者数：182人 来館時に開催中の展覧会を観覧、レクチャーを実施しました。

NO	団体名	実施日	参加者数
1	花巻市市民ツアー（文化・交流課）	7月9日（日）	41人
2	東京家政大学	7月28日（金）	26人
3	青空自主保育ていだのふあ	9月7日（木）	6人
4	湘南ビューティーカレッジ	12月14日（木）	26人
5	（公財）箱根町文化スポーツ財団	1月25日（木）	34人
6	神奈川行政相談委員協議会	1月31日（水）	49人

(3) 博物館実習生及び職場体験

●博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生8人を受け入れ、6月から12月まで実習を実施しました。

●中堅教諭等資質向上研修 社会体験研修の受け入れ。

5年時研修として8人の教員の受け入れを行いました。

●中学生職場体験及び高校生等の受け入れ

美術館の仕事を実際に体験することで社会性・勤労観やマナーを身に付け、将来の職業選択につながるよう、市内中学校6校24人を対象に美術館の概要講義や業務体験を実施しました。また、市内高校1校3人のインターンシップを実施しました。

(4) 定例会議

●美術館協議会

○委員(敬称略) 8 人 吉村維元(学識経験者)、初山昌夫(学識経験者)、獅々倉聡(学校教育関係者)、木村一彦(学校教育関係者)、森下志麻(学校教育関係者)、鈴木憲子(社会教育関係者)、高橋孝祥(社会教育関係者)、上原幸枝(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

○開催日/議題 第 1 回 令和 5 年 8 月 4 日(金)

／令和 5 年度上半期事業報告及び下半期の事業計画について

第 2 回 令和 6 年 3 月 19 日(火)

／令和 5 年度事業報告及び令和 6 年度の事業計画について

●美術品選定評価委員会

○委員(敬称略) 5 人 猿渡紀代子(学識経験者)、原田光(学識経験者)、橋本善八(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、長門佐季(学識経験者)

○開催日： 第 1 回 令和 5 年 7 月 14 日(金)

第 2 回 令和 6 年 1 月 10 日(水)

(5) 所蔵作品データベースの公開

公開している情報は作家名、作品名、制作年、材質技法、寸法、寄贈者、作品画像等です。

新収蔵作品の文字データ 12 件と、二見利節、加藤芳信作品 241 点の画像を公開しました。

日本語サイト：<https://jmapps.ne.jp/hiratukabi/>

英語サイト：https://jmapps.ne.jp/hiratukabi_en/

V 施設の管理

(1) 設備点検

専門業者による定期点検のほか、施設内の点検・整備等を委託業者とともに随時行いました。

(2) 消防訓練の実施

受付・監視業務の委託業者を主な対象とした消防訓練を実施しました。

実施日：令和 6 年 1 月 26 日(金)

内 容：展示室避難経路の確認

消火器・消火栓・ハロン放出装置の配置と使用方法の確認

非常用発電機についての説明

V 施設利用者等の統計

※以下、単位を省略します。

(1) 展覧会

●開館日数、観覧者数

月	R5 年度				R4 年度				R3 年度			
	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計	開館 日数	企画展	特集展	合計
4 月	26	1,641	1,521	3,162	26	3,551	1,801	3,551	26	2,842	-	2,842
5 月	26	3,069	2,667	5,736	26	5,864	5,630	11,494	26	16,666	-	16,666
6 月	26	2,214	736	2,950	26	3,529	1,894	3,529	26	11,803	-	11,803
7 月	26	4,752	4,136	8,888	26	2,262	2,830	5,092	27	2,155	1,938	4,093
8 月	27	7,986	6,286	14,272	27	3,435	3,776	7,211	26	3,202	2,607	5,809
9 月	26	3,236	1,409	4,645	26	1,551	1,805	3,356	26	2,048	1,791	3,839
10 月	26	1,470	1,868	3,338	26	1,367	192	1,559	27	2,439	1,856	4,295
11 月	26	2,663	2,813	5,476	26	2,683	2,737	5,420	25	3,101	2,791	5,892
12 月	24	-	1,506	1,506	24	-	1,573	1,573	24	2,083	2,061	4,144
1 月	24	-	2,838	2,838	24	-	2,614	2,614	24	-	2,052	2,052
2 月	25	-	4,171	4,171	25	-	3,976	3,976	24	-	2,161	2,161
3 月	27	-	5,358	5,358	27	-	4,683	4,683	27	-	3,755	3,755
4 月	7	-	588	588	7	-	570	570	3	-	532	532
計	316	27,031	35,897	62,928	316	20,547	28,828	49,375	311	46,339	21,544	67,883

●学校観覧

		R5 年度						R4 年度						R3 年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数	学校 数	生徒 数	教員 数
小学校	市内	2	116	11	6	373	26	4	204	20	6	234	33	7	443	33	10	590	51
	市外	1	27	3	4	241	15	2	108	5	3	337	15	0	0	0	0	0	0
中学校	市内	2	15	4	2	15	4	6	49	20	6	49	20	2	14	6	1	5	2
	市外	16	266	32	15	251	29	8	117	11	9	138	23	2	20	2	2	20	2
高等学校		2	20	10	2	20	10	0	0	0	3	37	16	6	40	20	5	31	16
計		23	444	60	29	900	84	20	478	56	27	795	107	17	517	61	18	646	71

(2)貸出施設

●市民アートギャラリー

	R5 年度			R4 年度			R3 年度		
月	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4 月	12	2	602	12	2	744	12	2	541
5 月	24	4	1,983	24	4	2,015	17	4	1,470
6 月	5	1	223	18	3	1,380	12	2	1,278
7 月	21	4	2,146	24	4	2,514	18	4	1,966
8 月	30	6	3,660	23	6	2,198	16	5	1,087
9 月	23	6	3,351	17	5	1,826	13	2	492
10 月	26	5	2,961	19	3	1,971	19	3	1,601
11 月	21	6	4,970	28	7	4,811	24	5	2,814
12 月	12	3	1,463	12	3	1,086	6	2	606
1 月	26	5	5,975	25	6	6,345	13	3	1038
2 月	16	5	1,426	12	3	1,642	12	3	762
3 月	27	3	2,957	30	4	2,763	24	4	3291
計	243	50	31,717	244	50	29,295	186	39	16,946

●ミュージアムホール

	R5 年度			R4 年度			R3 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4 月	3	3	220	2	2	95	3	3	152
5 月	0	0	0	1	1	35	—	—	—
6 月	3	3	232	4	5	235	4	4	137
7 月	2	2	117	3	3	108	2	2	100
8 月	3	3	230	2	2	154	1	1	22
9 月	5	2	286	6	6	176	4	5	181
10 月	5	4	296	2	2	98	2	2	90
11 月	2	2	130	2	2	80	—	—	—
12 月	7	5	340	5	5	270	4	6	263
1 月	12	12	689	5	5	149	1	1	50
2 月	5	5	323	4	4	116	2	2	70
3 月	11	10	750	7	7	378	10	10	313
計	58	51	3,613	43	44	1,892	33	36	1,378

●アトリエ

	R5 年度			R4 年度			R3 年度		
月	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4 月	8	8	80	4	4	41	4	4	36
5 月	6	6	131	1	1	4	1	1	4
6 月	4	4	41	5	7	76	3	4	41
7 月	2	2	24	3	3	35	4	4	32
8 月	3	3	48	3	3	51	1	1	12
9 月	3	3	28	2	3	26	2	2	23
10 月	3	4	264	6	6	102	4	4	83
11 月	3	3	35	3	3	33	5	5	52
12 月	1	1	11	2	2	27	3	3	23
1 月	3	3	422	8	2	298	10	5	273
2 月	3	3	40	4	4	50	1	1	12
3 月	2	2	18	0			3	3	31
計	41	42	1,142	41	38	743	41	37	622